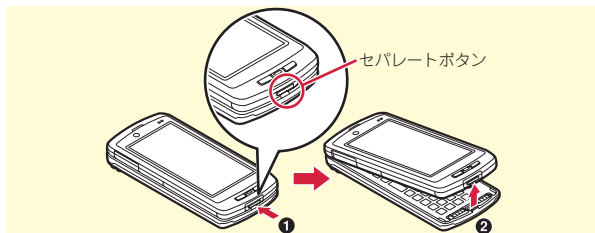
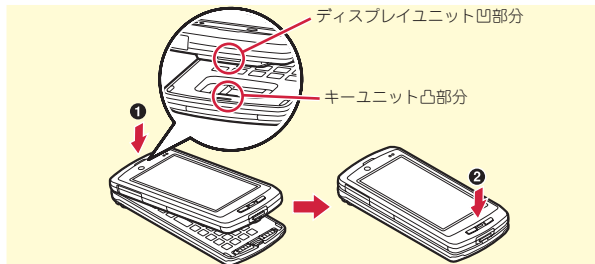
セパレートスタイルで操作する

セパレートスタイルでキーユニットから操作するには、キーユニットがBluetooth機器として登録されている必要があります。登録は、FOMA端末を接合してから初めて電源を入れたときに自動的に行われます。
※ FOMA端末を分離／接合するときは、FOMA端末を手に持って行ってください。

✜ 分離のしかた

セパレートボタンを押し（❶）、ディスプレイユニットを持ち上げる（❷）。

分離するとアーチランプが点滅し、自動的にディスプレイユニットとキーユニットのBluetooth接続が開始されます。
キーユニットが使えるようになるまでには約4～5秒かかります（通話中に分離した場合と、キーユニット分離利用設定が「常時Bluetooth接続」の場合を除く）。Bluetooth接続が完了するとディスプレイにやが表示され、キーユニットのBluetoothランプが点滅します。

✜ 接合のしかた

キーユニットの凸部分とディスプレイユニット裏面の凹部分を合わせるようにユニットを重ね（❶）、セパレートボタン部分が「カチッ」と音がして固定されるまで押す（❷）。

接合するとアーチランプが点滅し、しばらくするとBluetooth接続は切断されます。

Point

- キーユニットでFOMA端末を操作するには、両方のユニットの電源が入っている必要があります。キーユニットの電源が入っていなかったりBluetooth機器として認識されなかったりすると、FOMA端末を分離してもBluetooth接続が開始されません。
- セパレートスタイルでは、ディスプレイユニットの電源オフや特定のロック機能、ソフトウェア更新などによって、自動的にキーユニットの電源が切れ、Bluetooth接続が停止します。セパレートスタイルでキーユニットを再使用するには、ディスプレイユニットの電源オンやロック解除後に、一旦接合する必要があります。
- 電源のオン／オフが異なる状態でユニットを接合すると、ディスプレイユニットの電源状態にキーユニットが切り替わります。

FOMAカード／電池パックの取り付け

分離時のBluetooth機器の同時利用

キーユニットの分離使用中は、HID対応機器（キー入力）やHFPおよびHSP対応機器（通話）が同時に利用できません。これらのBluetooth機器を利用するには、以下のいずれかを行ってください。

【方法1】

ディスプレイユニットとキーユニットを接合します（キーユニット分離利用設定が「自動Bluetooth接続」のときのみ有効）。

【方法2】

キーユニットを分離したまま、MENU▶6＊2▶登録機器リストで「F04B-S」にカーソルを合わせてMENU4でキーユニットの接続を切断し、使用するBluetooth機器を選択して接続します。ただし、この操作によって、キーユニットの電源が切れます。

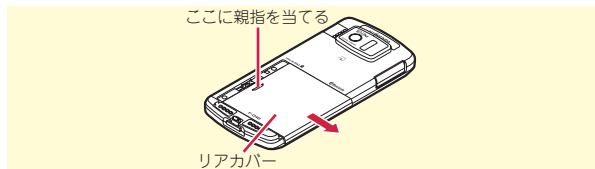
Point

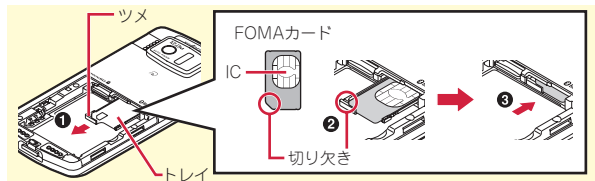
- 航空機内や病院などの使用を禁止された区域では、ディスプレイユニットの電源を切った後、キーユニットの電源も切れていることを確認してください。
- キーユニット分離利用設定を「常時Bluetooth接続」にすると、電池の消費が多くなります。
- HFP/HSP/HID対応機器を利用中にキーユニットを分離すると、サービス（プロファイル）が同時利用できないため、キーユニットの機能が制限されます。HFPまたはHSP対応機器を使用中はキーユニットでのキー操作のみ、HID対応機器を使用中はキーユニットでの音声通話のみ利用できます。Bluetooth機器を2台同時に使用しているときキーユニットを分離すると、キーユニットの電源が切れます。

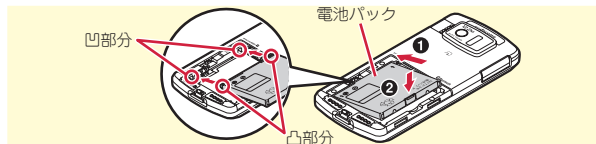
ディスプレイユニットへの取り付け

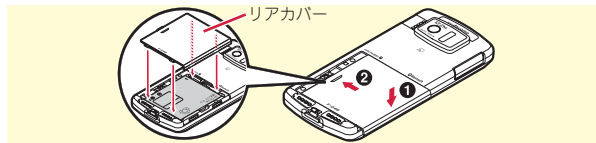
FOMAカードはディスプレイユニットにセットします。電池パックやFOMAカードの取り付け／取り外しをするときには、FOMA端末を分離してディスプレイユニットの電源を切り、ディスプレイユニットを手に持って正しく行ってください。

✤ リアカバー F45の取り外し

親指でリアカバーを押しながら矢印の方向に約3mmスライドさせて外す。

✤ FOMAカードの取り付け

トレイのツメに指をかけ、「カチッ」と音がするまで引き出す（❶）。IC面を上にし、切り欠きの向きを合わせてFOMAカードをトレイにセットし（❷）、トレイを奥まで押し込む（❸）。

✤ 電池パック F13の取り付け

電池パックのラベル面を上にし、電池パックの凸部分をディスプレイユニットの凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む。

✤ リアカバー F45の取り付け

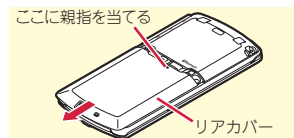
リアカバーの4箇所のツメをディスプレイユニットのミゾに合わせて、ディスプレイユニットとの間にすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける。

Point

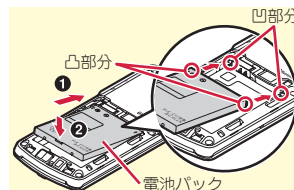
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

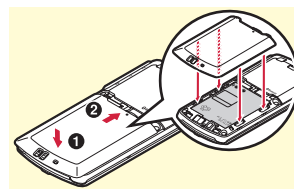
キーユニットへの取り付け

FOMA端末を分離してキーユニットの電源を切り、キーユニットを手に持って正しく行ってください。

✤ リアカバー F46の取り外し

キーユニットがスライドしないように片手でしっかり持ち、もう一方の手の親指でリアカバーの丸い印があるところを押しながら、矢印の方向に約3mmスライドさせて外す。

✤ 電池パック F14の取り付け

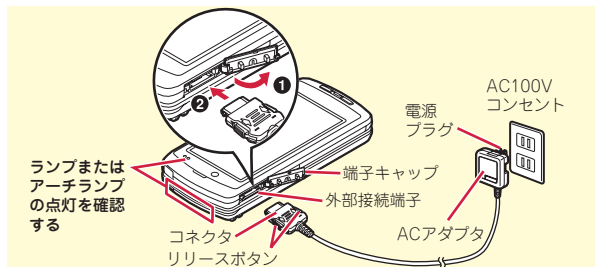
電池パックのラベル面を上にし、電池パックの凸部分をキーユニットの凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む。

✤ リアカバー F46の取り付け

リアカバーの4箇所のツメをキーユニットのミゾに合わせて、キーユニットとの間にすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける。

充電

充電するときには、ディスプレイユニットとキーユニットの両方に電池パックを取り付けてください。また、キーユニットは、必ずFOMA端末を接合して充電してください。
FOMA端末の電源が切れているときは、ACアダプタやDCアダプタで充電するとディスプレイユニットから、卓上ホルダを使って充電するとキーユニットから先に充電します。

ACアダプタによる充電

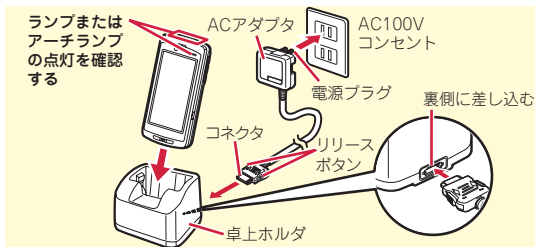
1 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）**

2 **電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む**

3 **充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く**

卓上ホルダと組み合わせた充電

1 **ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ水平に差し込む**

2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む**

3 **FOMA端末を接合し、ベーシックスタイルにして、卓上ホルダに差し込む**

4 **充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す**

✜ 充電中の動作

- 両ユニットの電源が入っている場合、優先して充電するユニットの選択画面が表示されます。一定時間操作しないと、ディスプレイユニットが優先されます。
- 充電が始まると開始音が鳴ります。充電中はランプまたはアーチランプが点灯し、電池アイコンが点滅します。充電が終わると完了音が鳴ります。

電池レベル表示

電池レベルは常にディスプレイ表示されていますが、メニュー操作などで確認することもできます。

ディスプレイユニット

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 5 情報表示／リセット ▶ 4 電池レベル表示

キーユニット

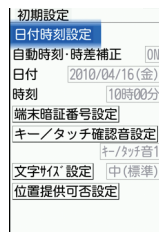
1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 9 キーユニット設定 ▶ 3 キーユニット電池レベル表示

セパレートスタイルでは、QWERTYキーの Ctrl を押しながら B を押し、アーチランプの色で確認できます。

意味	多い ←→		ほとんどない（充電が必要）
ディスプレイユニット			
キーユニット			
メニュー操作による鳴動	3回鳴る	2回鳴る	1回鳴る
アーチランプ	緑	黄	赤

Point

- FOMA端末の電源が入っていて接合されているときには、いずれかのユニットの電池レベルが1以下（電池が切れそうになった状態を含む）になると、もう一方のユニットの電池レベルが3の場合に自動的に電源の供給が行われます（ユニット間給電）。

電源を入れる～初期設定

初めてFOMA端末の電源を入れたときに行う操作です。

1 10キーの [電源]（2秒以上）またはフロントキーの [電源]（2秒以上）

2 拡大メニューの設定の確認画面で「はい」or「いいえ」

右の画面が表示されます。

3 各項目を設定 ▶ [カメラ]［終了］

端末暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。設定せずに終了すると、次に電源を入れたときに再び初期設定画面が表示されます。

〈初期設定画面〉

4 ソフトウェア更新機能の確認画面で [●]

待受画面が表示されます。

Point

- FOMA端末を接合してから電源を入れると、初期設定が終了してから自動的にキーユニットがBluetooth機器として登録され、ディスプレイに が表示されます。
- セパレートスタイルのときは、ディスプレイユニットの電源を切るとキーユニットの電源も切れますが、キーユニットの電源を切ってもディスプレイユニットの電源は切れません。
- 何も操作しないでいると、画面オフ時間設定や省電力設定に従って自動的にディスプレイが消灯します。何らかの操作や電話の着信などによって、ディスプレイは再び点灯します。

電源を切る： 10キーの [電源]（2秒以上）またはフロントキーの [電源]（2秒以上）

初期設定の変更： MENU ▶ 8 7 5 7

モーションセンサー

FOMA端末をダブルタップ（2回叩く）したり傾けたりして、さまざまな操作ができます。

✤ アラームの停止

FOMA端末を閉じた状態でアラーム鳴動中にFOMA端末をダブルタップすると、鳴動が停止します。目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。

✤ オートローテーション

ベーシックスタイルまたはセパレートスタイルでは、FOMA端末やディスプレイユニットの傾きに合わせて、縦画面と横画面、画像（JPEG形式）の縦横や表示サイズが切り替わります。

✤ 静止画の自動切り替え

撮影した静止画を保存する際、FOMA端末の傾きに合わせて自動縦横判定が行われ、縦長／横長、天地が切り替わります。

✤ ブラウザ画面のスクロール

[ボタン]を押しながらFOMA端末を傾けると、上下左右斜めにスクロールできます。大きく傾けるほど速くスクロールします。

✤ Flash画像の変化

待受画面に設定したモーションセンサー対応のFlash画像は、FOMA端末を動かすと変化します。

✤ ｉアプリの直感的な操作

FOMA端末を動かすことで直感的なｉアプリ操作ができます。セパレートスタイルでは、ｉアプリによって操作に使用するユニットが異なります。

Information

- モーションセンサーを無効にしたり、機能ごとに有効／無効を選択したりすることができます。【モーションセンサー設定】

プロフィール情報

自分の電話番号を確認します。
メールアドレスの確認／変更方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 MENU ▶ 0 プロフィール

右の画面が表示されます。

〈プロフィール情報画面〉

Point

プロフィール情報を編集：プロフィール情報画面で[カメラ]▶認証操作▶編集▶[カメラ]

通話中などに電話番号を確認：フロントキーのCLR（1秒以上）▶0

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。ここでは主なマークを紹介します。

ディスプレイ上部

：ディスプレイユニットの電池アイコン⇒P24
電波受信レベル（アンテナアイコン）

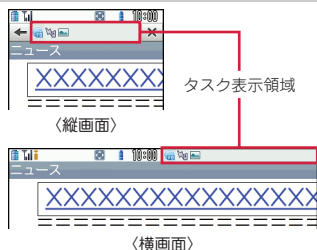
	圏外
強 ⟷ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

：セルフモード中
：データ転送モード中
：ｉモード接続中
：赤外線通信中
：Bluetoothオン
：積算通話料金が上限を超過
：Bluetooth接続処理中
：ハンズフリー対応機器で通信中
：ハンズフリー ON
：フェムトセル利用可能
：省電力モード設定中
：GPS測位中
：位置提供設定中
：SSL／TLSページ表示中など
：圏内自動送信メールあり
：電話帳、スケジュールがシークレット属性
：ワンタッチアラーム設定が「ON」
：親子モード設定中
：未読エリアメールあり
：未読ｉモードメールあり
：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
：ｉモードセンターに未受信のｉモードメールあり
：ｉアプリ動作中
：ｉアプリコール受信あり
：ユニット間の通信状態、キーユニットの電池アイコン⇒P24
：目覚まし設定中
：スケジュールアラーム設定中
：OFFICEEDエリア内

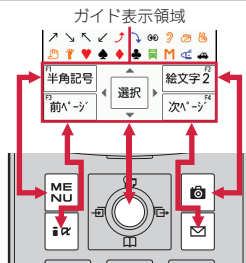
ディスプレイ下部

新着情報（左から、不在着信、伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、未読メール、未読トルカ、ｉアプリコール）
：マナーモード中
：電話着信音量消音設定中
：音声電話着信バイブレータ設定中
：公共モード（ドライブモード）中
：伝言メモ設定中
：ダイヤル発信制限中
：GPS位置提供失敗
：パーソナルデータロック中
：Music&Videoチャネル取得失敗
：FOMAカード読み込み中
：ICカードロック中
：有効マルチカーソルキー
：ワンセグ録画中
：ｉアプリ自動起動失敗
：通信モード中にmicroSDカードあり
：USBケーブルで外部機器と接続中
：ウォーキング／Exカウンター設定中
：ソフトウェア更新書き換え予告
：最新パターンデータ自動更新失敗
：ケータイサーチ利用可能

タスク表示領域

タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示されます。

ガイド表示領域とキー操作

ガイド表示領域には、MENU、iα、●、📷、✉を押して実行できる操作が表示されます。ガイド表示領域に表示されている操作を行うには、表示位置に対応するキーを押します。
ガイドの左上または右上の「F1」～「F4」は、QWERTYキーのF1～F4に対応しています。また、ガイド表示領域の◆は、マルチカーソルキーの✤に対応しています。

セパレートスタイルでの状態表示

セパレートスタイルでは、ディスプレイの表示や各種ランプでFOMA端末の状態が確認できます。

✤ ディスプレイ

キーユニットの電池レベル（⇒P24）に加え、キーユニットで利用可能な状態が表示されます。

- ：通話とキー操作の両方が利用可能
- ：通話のみ利用可能
- ：キー操作のみ利用可能
- ：キーユニット利用不可

✤ Bluetoothランプ

点滅の色で次の状態を表します。
青色：Bluetooth接続中
赤色：Bluetooth切断中
※ 約10分間何も操作しないと一時的に点滅が停止します。

✤ アーチランプ

次の色で次の状態を表します。
赤色と白色で点滅：ケータイサーチ起動中
緑色を基調に流れるように点灯：ゲームモード起動
青色を基調に流れるように点灯：ゲームモード終了
赤色で点滅：キーユニットの電池が切れそうなとき
そのほか、電話やメール受信時などにもディスプレイのランプと連動して点灯・点滅します。

Point

- 着信時、通話中などは、イルミネーション設定に従ってディスプレイユニットのランプが点灯し、キーユニットのランプやアーチランプもそれと連動します。ただし、色などは変更できません。また、QWERTYキーロック起動時とロック中にキーを押したときには、キーユニットのランプが黄色で点灯します。

メニュー操作

待受画面で MENU を押し、メニューから機能を実行します。ダイヤルキーや ✱ 、 ＃ でメニューを選択するショートカット操作と、カーソル移動で行うマルチカーソル操作があります。

〈例〉「電卓」を選択する

ショートカット操作

1 MENU ▶ 7 ▶ 4

マルチカーソルキー操作

1 MENU ▶「7 アクセサリー」にカーソル ▶ ● ［選択］ ▶「4 電卓」にカーソル ▶ ● ［選択］

Point

- 機能起動中も、ガイド表示領域に「MENU」と表示されている場合は同様に操作します。
- 1つ前の画面に戻すには CLR を押します。待受画面に戻すには ⏻ を押します。
- 待受画面にカレンダー／待受カスタマイズや待受ショートカットを設定しているとき、新着情報アイコンが表示されているときには、● を押して情報をすばやく表示するフォーカスモードになります。

メニュー画面の切り替え

きせかえツール（⇒P39）でデザインを変更できる「きせかえメニュー」、メニュー番号が固定の「ベーシックメニュー」、メニュー項目を自由に登録できる「セレクトメニュー」を切り替えて使用できます。
お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたきせかえメニューが設定されています。

〈ベーシックメニュー〉 〈きせかえメニュー〉 〈セレクトメニュー〉

Point

- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものや、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
- 待受画面で MENU を押したときに表示されるメニューは、表示メニュー設定で変更できます。⇒P36

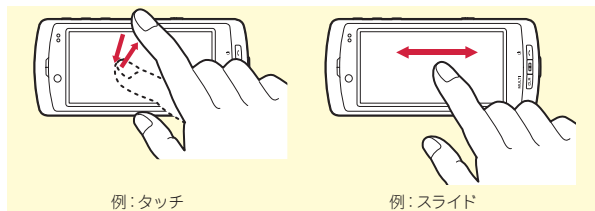
基本の操作

タッチパネルの使いかた

ディスプレイをタッチパネルとして利用できます。キー操作で項目を選択できる画面では、タッチ操作でも同様の操作ができます。

タッチ操作の種類

タッチ	画面を軽く1回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主にメニューや項目の選択などで使用します。
ダブルタッチ	画面を軽く2回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主に画面表示の拡大／縮小や切り替えなどで使用します。
スライド	画面に軽く触れたまま、上下左右のいずれかの方向に動かします。画面のスクロール、曲や動画、ビデオの巻き戻し／早送りなどに使用します。
すばやくスライド	画面に軽く触れた後、上下左右のいずれかの方向にすばやく指をはらいます。ページや表示画像の切り替え、チャプターや曲の移動などで使用します。

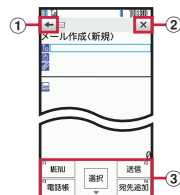
例：タッチ　　例：スライド

タッチ専用操作

代表的なタッチ操作を紹介します。

待受画面からの機能選択

待受タッチボタン（画面下部の4つのボタン）と待受ランチャー（右下の画面）を使用します。

ガイダンスボタン

1つ前の画面に戻る（①）、機能の終了（②）、ガイド表示領域に表示されている機能の実行（③）を行います。

タッチ用メニューボタン

機能ごとに異なるボタンが表示されます。

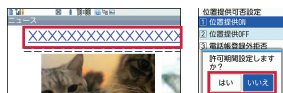
例：電話をかける画面　　例：マイドキュメント

フォーカス移動とメニュー／項目選択

メニューや項目をタッチし、タッチ用フォーカスを移動してからもう一度タッチして選択します。

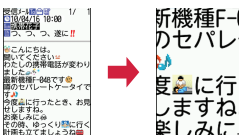
一覧でスライド　　項目を直接タッチ

リンク項目や確認画面
項目を直接タッチします。

数値設定ローラー
日付や時刻など、数値を設定する項目を選択すると、スライド操作で数値を回転しながら設定できます。

方向・決定ボタン
iモードブラウザをスライドスタイル以外で利用する場合は、方向・決定ボタンで表示画面内のメニューや項目を操作します。

チャンネル切り替えパネル／音量調整パネル
ワンセグや動画再生中に、上下または左右にスライドでパネルを表示し、タッチまたはスライドで操作します。

タブ切り替えとスクロール
電話帳などのタブをタッチやスライドで切り替えたり、スライドでスクロールします。

一時拡大
メールやフルブラウザなどでダブルタッチして拡大表示します。

画面の説明

使いかたガイド

機能の概要や操作方法、困ったときの対処方法を調べることができます。

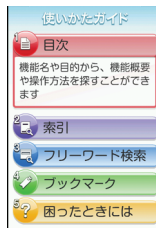
1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 0 使いかたガイド ▶ 検索方法を選択**

目次：機能の一覧から選択して調べます。

索引：50音順の用語一覧から選択して調べます。

フリーワード検索：探したいキーワードを入力して調べます。

ブックマーク：ブックマークに登録した一覧から調べます。

困ったときには：トラブルの現象やエラーメッセージから調べます。

〈使いかたガイド画面〉

Point

- 説明画面では、「この機能を使う」を選択して機能を実行できます。「関連機能」内のリンク項目や「→コチラ」を選択すると、関連する機能の説明画面が表示されます。
- 本書内の【🔍】で示した用語は、「使いかたガイド」の索引用語です。

Information

- フリーワード検索は、クイック検索からも利用することができます。⇒P79

文字入力

文字を入力するには、キー操作とタッチ操作による方法があります。キー操作には、10キーによる入力とQWERTYキーによる入力があります。
文字入力画面で入力方法切り替えボタン（など）をタッチするたびに、入力方法とアイコンの表示が切り替わります。

キー操作による文字入力

10キーによる文字入力

	かな入力方式	2タッチ入力方式
概要	1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押して文字を切り替えて入力	2つのキーを組み合わせて押すことで1つの文字を入力
入力例	「ろ」：9を5回 「っ」：4を3回▶✱ 「ぽ」：6を5回▶✱を2回 「ん」：0を3回 「ぎ」：2を2回▶✱	「ろ」：9 5 「っ」：8 0 4 3 「ぽ」：8 0 6 5 0 5 「ん」：0 3 「ぎ」：2 2 0 4
入力中の操作	：1つ前の文字に戻す（例：お⇒え⇒う⇒…）	―
	CLR：文字の取り消し、文字の削除（入力確定後） ✱：濁点・半濁点の付加や大文字／小文字の切り替え（例：ほ⇒ぼ⇒ぽ⇒ほ⇒…、つ⇒っ⇒づ⇒つ⇒…）、改行（入力確定後のみ）	

※ 中国語（簡体字）を入力するには、マルチリンガル利用設定を「ON」にし、「T9入力方式」で入力します。

QWERTYキーによる文字入力

	ローマ字入力方式
概要	読みに対応するローマ字の綴りどおりにアルファベットのキーを押すことで文字を入力
入力例	ひとつの単語として「六本木」と入力するときには「ropponngi」と入力しますが、ここでは文字の入力例として一文字ずつ入力した場合の入力例を紹介します。 「ろ」：R O 「っ」：L T U／X T U／L T S U 「ぽ」：P O 「ん」：N N／X N 「ぎ」：G I
入力中の操作	**Fn＋キー上部に記号または数字が印刷されているキー**：記号および数字の入力 Sh＋A～Z：アルファベットを大文字で入力 Ctrl＋Sh：大文字で入力される状態を維持 ※による1つ前の文字に戻す操作には対応していません。

タッチ操作による文字入力

	手書き文字入力	タッチキー入力
概要	手書き入力エリアに、指で文字を書いて入力	タッチ操作で文字を選択して入力
入力例	入力エリアに「六」「本」「木」と順に書く	**「ろ」**：［ら9］ ▶ ［ろ］ **「っ」**：［た4］ ▶ ［っ］ **「ぽ」**：［は6］ ▶ ［゛゜］を2回 ▶ ［ぽ］ **「ん」**：［わ0］ ▶ ［ん］ **「ぎ」**：［か2］ ▶ ［゛゜］ ▶ ［ぎ］
入力中の操作	**［クリア］または[←]**：カーソル位置の1文字を削除（入力確定後）	
	［クリア］：認識文字を削除 **［閉じる］**：別候補文字選択画面の表示終了 **［訂正］**：文字の書き直し	**［大/小］**：大文字／小文字の切り替え **［戻る］**：各入力モードの1階層目の文字入力画面に戻す **［前ページ］／［次ページ］**：前後の記号一覧を表示

入力モードの切り替え

入力方式により、入力モードの切り替えかたが異なります。

かな入力方式・2タッチ入力方式

文字入力画面で[あα]を押すたびに、「ひらがな／漢字」⇒「半角カタカナ」⇒「半角英字」⇒「半角数字」⇒「ひらがな／漢字」…と入力モードが切り替わります。

- [◎]で全角／半角の切り替えができます。

ローマ字入力方式

文字入力画面で[F3]を押すたびに、「ひらがな／漢字」⇒「半角カタカナ」⇒「半角英字」⇒「半角数字」⇒「ひらがな／漢字」…と入力モードが切り替わります。

- [▲]、[▼]、[全/半]のいずれかで全角／半角の切り替えができます。
- ローマ字入力方式のときには、「ひらがな／漢字」「半角カタカナ」および「全角カタカナ」の入力モードを示すアイコンに「R」が付きます。

タッチキー入力

［文字切替］をタッチすると入力モード一覧が表示され、［かな英数］［英数］［数字］［カタカナ］［半角記号］［全角記号］のいずれかをタッチすると入力モードを切り替えられます。

- 入力モードが［かな英数］［英数］［数字］［カタカナ］のときには、［全角半角］で全角／半角の切り替えができます。

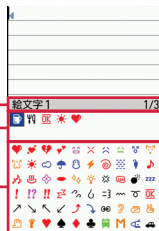
文字入力設定

文字入力の入力方式や、入力時の動作を設定します。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 3 文字入力設定 ▶ 5 入力設定 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

絵文字・顔文字の入力

絵文字の入力

1 文字入力画面で［絵・記号］が表示されているときに 📷［絵・記号］

2 絵文字を選択

CLR を押すと、絵文字一覧は閉じます。

Point

- ローマ字入力方式のときには、F2 を押すと絵文字一覧が表示されます。絵文字一覧は F2 を押すたびに切り替わります。また、ページが複数あるときには、F3 または F4 を押して切り替えます。

顔文字の入力

1 文字入力画面で MENU ▶ 5 絵文字・記号・顔文字 ▶ 3 顔文字 ▶ 1 入力履歴～9 すべて ▶ 顔文字を選択

メール本文の編集画面での顔文字入力： MENU ▶ 5 1 ▶ 1 ～ 9 ▶ 顔文字を選択

Information

- よく使う文章や単語を登録することができます。【文字入力 ▷ 定型文登録｜単語登録】
- 入力した文字をコピーしたり、切り取ったり、貼り付けたりすることができます。【文字入力 ▷ コピー｜切り取り｜貼り付け】
- ユーザ名やパスワードなどの認証情報を登録することができます。【パスワードマネージャー】

音の設定

着信音を変更したり、音量を調整したり、FOMA端末から出る音を消したり、音に関する設定を行います。

音設定

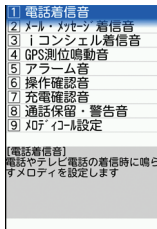
好きなメロディなどを着信音やアラーム音に設定することができます。

〈例〉電話着信音（電話着信音／テレビ電話着信音）の設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 1 音／バイブ ▶ 1 音設定**

電話着信音のほかにも、メール・メッセージ着信音やｉコンシェル着信音などを設定することができます。

2 **1 電話着信音 ▶ 1 電話着信音 or 2 テレビ電話着信音 ▶ 各項目を設定 ▶ [📷]［登録］**

1 電話着信音
2 ﾒｰﾙ・ﾒｯｾｰｼﾞ着信音
3 ｉコンシェル着信音
4 GPS測位鳴動音
5 アラーム音
6 操作確認音
7 充電確認音
8 通話保留・警告音
9 ﾒﾛﾃﾞｨｺｰﾙ設定
［電話着信音］
電話やテレビ電話の着信時に鳴らすメロディを設定します

〈音設定画面〉

Point

- 電話着信音を設定すると、電話着信設定およびテレビ電話着信設定にも反映されます。
- ミュージックや動画／ｉモーションによっては、着信音に設定できない場合があります。

音量設定

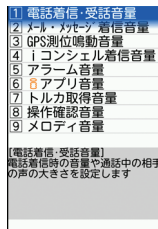
着信音やアラーム音などの音量を設定します。

〈例〉電話着信音量の設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 1 音／バイブ ▶ 2 音量設定**

電話着信音量のほかにも、メール・メッセージ着信音やｉコンシェル着信音などの音量を設定することができます。

2 **1 電話着信・受話音量 ▶ 1 電話着信音量 ▶ [🔘] ▶ [●]［選択］**

音量は「Silent」「Level 1」～「Level 6」「Steptone」の中から選択します。

〈音量設定画面〉

Point

- 「Silent」に設定したときには、待受画面に🔇が表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときは📳が表示されます。

Information

- 電話を着信したときの着信音やイメージ表示、バイブレータの動作パターン、イルミネーションを設定できます。【🔍電話着信設定】【🔍テレビ電話着信設定】
- 着信やアラームを音ではなく、振動で知らせることができます【🔍バイブレータ設定】

マナーモード

着信音、キー／タッチ確認音、スライド操作音、分離／接合音、アラーム音、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。マナーモード中は、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

1 **#（1秒以上）**

マナーモード中は待受画面に[icon]が表示されます。

マナーモードの解除： #（1秒以上）

〈マナーモード中の待受画面〉

Point

- マナーモード中でもシャッター音やケータイサーチの音は鳴ります。

キー／タッチ確認音を消す

キーを押したり、タッチ操作をしたりしたときに鳴る音を消します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 1 音／バイブ ▶ 1 音設定 ▶ 6 操作確認音**

キー／タッチ確認音のほかにも、スライド操作音や分離／接合音を消したり、シャッター音を変更したりすることができます。

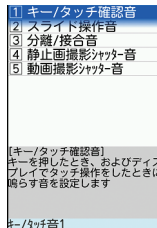
〈操作確認音設定画面〉

2 **1 キー／タッチ確認音 ▶ 5 OFF**

キー／タッチ確認音を解除する旨のメッセージが表示された後、右の画面に戻ります。

音を選ぶときは「1 キー／タッチ音1」～「4 ドレミ」の中から選択します。

Information

- 着信やアラームごとにマナーモード中の動作を設定することができます。【オリジナルマナーモード】

ディスプレイの設定

待受画面や照明、文字サイズなどを変更することができます。

待受画面設定

お買い上げ時の待受画面はきせかえツールに従ってコーディネイトされていますが、待受画像や時計表示、電池アイコンなどを個別に設定して、オリジナルの組み合わせを楽しむことができます。

待受画面選択

〈例〉お買い上げ時に登録されている画像を待受画面に設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 1 待受画面設定 ▶ 1 待受画面選択 ▶ 1 縦画面設定** or **2 横画面設定 ▶ 1 イメージ設定**

きせかえツールが設定されているときには、きせかえツールの解除確認画面が表示されます。

2 **「はい」▶ 6 プリインストール ▶ 画像を選択 ▶「はい」**

時計表示設定

時計の表示有無や位置、デザイン、曜日の表示言語などを設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 2 時計 ▶ 4 時計表示設定 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］**

デザインを「世界時計」にすると、左に日本国内、右にタイムゾーンに設定した地域の時刻と名称が表示されます。

電池アイコン設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 1 待受画面設定 ▶ 3 電池アイコン設定**

右の画面が表示されます。

〈電池アイコン設定画面〉

2 **1〜6**

きせかえツールが設定されているときに「きせかえツールに従う」以外を選択すると、きせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を押すと、選択したアイコンが設定されます。

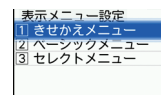
表示メニュー設定

待受画面でMENUを押したときに表示されるメニューのタイプを設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 2 メニュー設定 ▶ 1 表示メニュー設定 ▶ 1 きせかえメニュー〜3 セレクトメニュー**

〈表示メニュー設定画面〉

Information

- 待受画面をいくつかのエリアに分割して、それぞれのエリアに新着情報やスケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容を表示するように設定できます。【待受画面設定 ▷ カレンダー／待受カスタマイズ】

文字サイズ設定

ｉモードサイトやメール作成画面、電話帳などの文字のサイズを変更することができます。

〈例〉一括して文字サイズを変更

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 6 文字表示設定 ▶ 1 文字サイズ設定 ▶ 1 全体 ▶ 1 極小～7 極大**
   選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズも変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を押すと、選択した文字サイズに適したきせかえツールを選択できます。

Point

- 一括して文字サイズを変更するときに、選択した文字サイズに対応していない項目は、もっとも近い文字サイズに設定されます。

フォント選択

メニューやメールなどの表示文字を変更します。ひらがなとカタカナはダウンロードしたフォントに変更することもできます。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 6 文字表示設定 ▶ 2 フォント選択**

2 **漢字／英数字欄を選択 ▶ 1 丸ゴシック～3 丸フォーク**

3 **ひらがな／カタカナ欄を選択 ▶ 1 漢字／英数字と同じ or 2 プリティー桃 ▶ 📷［登録］**

プライバシービュー

ディスプレイの表示を周囲の人から見えにくくします。待受画面以外の画面を表示中でも、起動／解除ができます。

1 **（1秒以上）**
   プライバシービューの解除：（1秒以上）

Information

- プライバシービューでは見えにくさのレベルを設定することができます。【プライバシービュー▷レベル設定】

マチキャラ設定

待受画面やメニュー画面などに表示されるキャラクタを設定します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶7マチキャラ設定▶各項目を設定▶📷［登録］**

Point

- 待受画面に動画／iモーションやiアプリが設定されているときには、マチキャラは表示されません。
- 時刻や新着情報、通話時間などによって動作が変化するマチキャラがあります。

照明点灯時間設定

ディスプレイを明るく点灯させる時間を設定します。

〈例〉「通常時」を設定

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶4照明／キーバックライト設定▶1照明点灯時間設定**

2 **1通常時▶10秒～7常時点灯**

Point

- 操作2で「通常時」以外を選択して「端末設定に従う」にすると、「通常時」で設定した点灯時間に従います。

Information

- ディスプレイの表示を消すまでの時間設定や、ディスプレイの照明の明るさ調整ができます。キーバックライトをON／OFFしたり、点灯色を選んだりすることができます。【照明／キーバックライト設定▷明るさ調整｜画面オフ時間設定｜キーバックライト設定】

ランプの設定

電話やメールの着信時、新着通知、不在着信をランプで知らせるよう設定します。

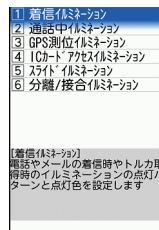
イルミネーション設定

電話やメールの着信時や通話中などのランプの点灯パターンと点灯色を設定します。

〈例〉着信時のイルミネーションを設定

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶5イルミネーション設定**

着信時のほかにも、通話中やFOMA端末を閉じたときなどのイルミネーションの設定ができます。

2 **1着信イルミネーション▶各項目を設定▶📷［登録］**

〈イルミネーション設定画面〉

不在着信お知らせ

不在着信や未読メール（iモードメール、SMS）、新着インフォメーションがあることをランプで知らせます。

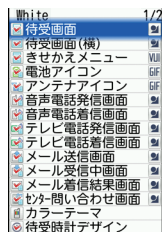
1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶3各種画面設定▶5着信表示設定▶2不在着信お知らせ▶1ON or 2OFF**

きせかえツール

待受画像、メニュー、発着信画像などをコーディネイトされた組み合わせで一括して設定します。

〈例〉お買い上げ時に登録されているきせかえツールを設定

1 **MENU ▶ 5 データBOX ▶ 7 きせかえツール ▶ 2 プリインストール ▶ きせかえツールにカーソル ▶ [📷]［設定］**

きせかえツールにカーソルを合わせて[✉]を押すと、きせかえツールの詳細内容が表示できます。
また、きせかえツールに合わせて[●]を押すと、待受画面とメニュー画面のイメージを拡大表示できます。

〈詳細内容表示画面〉

〈コーディネイトのイメージ拡大画面〉

2 **「はい」**

Information

- 指定した時刻に待受画面を切り替えたり、マナーモードやプライバシーモードを切り替えたりするように設定できます。【🔍ライフスタイル設定】

省電力モード

各種照明の設定を「OFF」にしたり、点灯時間を短くしたりして、電池の消費を抑えます。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 8 省電力設定 ▶ 1 省電力モードON／OFF**

選択するたびにON／OFFが切り替わります。ONにすると、待受画面に[省]が表示されます。

省電力動作設定

省電力モードにしたときの動作を設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 8 省電力設定 ▶ 2 省電力動作設定 ▶ 1 標準省電力 or 2 フル省電力**

標準省電力：画面の明るさやキーバックライトなど、ディスプレイの表示やイルミネーションの点灯などを調整して、電池の消費を抑える

フル省電力：標準省電力に加え、モーションセンサー設定やセキュリティロックの置き忘れセンサー、オートGPS、ウォーキング／Exカウンターなどの機能の使用を制限して、電池の消費を抑える

FOMA端末の暗証番号

機能によって異なる暗証番号を使います。暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。暗証番号を設定するときは、わかりやすい番号を避け、メモを取るなどして忘れないようにしてください。万が一他人に知られ悪用された場合でも、その損害について当社は一切の責任を負いかねます。暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

端末暗証番号 （お買い上げ時：0000）

設定変更時やデータの全件削除時に、端末の使用者がその機能を使うことを了解するために使う番号です。次の操作で変更できます。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶6端末暗証番号変更▶認証操作▶新しい端末暗証番号を入力▶新しい端末暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力▶[カメラ]［登録］**

Point

- 端末暗証番号入力画面で誤った番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

PIN1コード／PIN2コード （ご契約時：0000）

PIN1コードは、FOMAカードを取り付けたり、FOMA端末の電源を入れたりする際、使用者確認のために使います。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使います。

いずれも次の操作で変更できます。PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶5FOMAカード（UIM）▶1PIN1コード変更 or 2PIN2コード変更▶認証操作▶現在のPINコードを入力▶新しいPINコード欄と新しいPINコード（確認）欄に新しいPINコードを入力▶[カメラ]［登録］**

Point

- 電源を入れたときにPIN1コード入力画面を表示させるようにするには、MENU▶84531でPIN1コードON/OFFを「ON」にします。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの場合には、それらの操作はできなくなります。
- PIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えてロックされたときには、契約時に通知されたPIN ロック解除コードを入力します。PIN ロック解除コードの入力を連続10回間違えてFOMAカードがロックされた場合には、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

✤ ネットワーク暗証番号 （ご契約時：任意の番号を設定）

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要となる番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」から変更できます。

✤ ｉモードパスワード （ご契約時：0000）

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスの申し込み／解約などの際に必要な番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」から変更できます。

✤ microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の携帯電話に取り付けて使用する場合は、その携帯電話側にもパスワードの設定が必要になります。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話では、microSDカード内のデータを利用したり、初期化したりすることができません。ただし、microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

✤ パスワード（子供用） （お買い上げ時：1111）

親子モード中に、子供用のパスワードとして使用する暗証番号です。パスワード入力が必要なときは、端末暗証番号を入力しても認証されます。
親子モード⇒P45

各種ロック機能

さまざまなロック機能を目的に応じて使い分けてください。

オールロック

電話の応答、メールの受信、電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

起動： MENU ▶ 8 4 1 3 ▶ 認証操作
解除： スライドスタイルにして端末暗証番号を入力

セルフモード設定

通信を伴うすべての機能が使えなくなります。セルフモード中に分離したり、セパレートスタイル時にセルフモードを設定したりすると、キーユニットの電源が切れます。

起動／解除： ch CLR （1秒以上）▶「はい」

パーソナルデータロック

電話帳やメール、スケジュールなどの個人情報が表示されないようにします。

起動／解除： MENU ▶ 8 4 1 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できなくなります。

起動／解除： MENU ▶ 8 4 1 6 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

誤操作防止ロック

ディスプレイの表示を消して（画面オフ）タッチ操作をロックします。ベーシックスタイルのときは[key]、[key]、[key]とフロントキーの[CLR]と[key]を、セパレートスタイルのときはフロントキーの[CLR]と[key]をロックします。

起動／解除：[key]（キー操作以外にも、画面オフ時間設定の時間になると起動）

セキュリティロック

画面オフの状態から設定時間内に無操作だった場合に、タッチ操作やキー操作をロックします。

設定：[MENU]▶[8][4][1][2]▶認証操作▶各項目を設定▶[camera]

一時解除：画面オフ状態で[key]▶認証操作

タッチロック

発信中や通話中は、誤操作を防止するために自動的にタッチロックが起動します。

起動／解除：発信中や通話中画面で[key]（1秒以上）

QWERTYキーロック

持ち歩く際の誤操作を防ぐため、分離時のQWERTYキーをロックします。

起動／解除：QWERTYキーの[F1]（1秒以上）

ICカードロック

おサイフケータイや読み取り機からのトルカ取得、iC通信などが使えなくなります。

起動：[key]（1秒以上）▶「はい」

解除：[key]（1秒以上）▶認証操作

おまかせロック

FOMA端末紛失時などにドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけます。

■ おまかせロックの設定／解除

0120-524-360　受付時間　24時間

※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

Information

- 個人情報の利用時に認証操作が必要になるように設定したり、特定の電話帳やスケジュール、着信、送受信メールなどを非表示に設定したりできます。【プライバシーモード】

電話の着信制限

電話の着信を制限するさまざまな方法があります。

電話番号ごとの着信許可／拒否

電話帳ごとの設定をした後、着信許可／拒否設定（メモリ別着信拒否／許可）を有効にする必要があります。
本機能を利用するときには、番号通知お願いサービスおよび発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

1 Q▶電話帳検索▶設定する電話帳にカーソル▶MENU▶3編集／設定▶4詳細設定▶3着信許可／拒否設定▶認証操作▶電話番号を選択▶1着信許可～3設定なし

2 続けて待受画面でMENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶5メモリ着信拒否／許可▶1メモリ別着信拒否／許可▶認証操作▶1設定解除～3許可設定

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない理由ごとに着信動作を設定します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶2発番号なし動作設定▶認証操作▶1非通知設定～3通知不可能▶各項目を設定▶📷［登録］

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないようにすることで、「ワン切り」などの迷惑電話対策になります。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶5呼出動作開始時間設定▶各項目を設定▶📷［登録］

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない相手からの着信を拒否します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶5メモリ着信拒否／許可▶2メモリ登録外着信拒否▶認証操作▶1ON or 2OFF

お買い上げ時の状態に戻す

各種設定リセット

メニュー一覧に赤色の文字で書かれている機能をお買い上げ時の状態に戻します。⇒P95

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 5 情報表示／リセット ▶ 5 各種設定リセット ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ 📷［リセット］▶「はい」

データ一括削除

データを削除し、設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 5 情報表示／リセット ▶ 6 データ一括削除 ▶ 認証操作 ▶「はい」

再起動中にデータが削除されます。待受画面が再表示されるまで電源を切らないでください。なお、セパレートスタイルでは再起動時にキーユニットの電源が切れますので、一度FOMA端末を接合する必要があります。

Point

- データ一括削除をしても、お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- ICカード内にデータが保存されていないおサイフケータイ対応ｉアプリのうち「iD 設定アプリ」はデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、それ以外は削除されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリ以外のｉアプリはデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、以前にバージョンアップしているとｉアプリ自体が削除されます。

遠隔操作で利用を制限する

FOMA端末の機能を遠隔から制限する2つのサービスがあります。

お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online
- パソコンから
  http://www.docomo.biz/

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

✜ 遠隔初期化

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／FOMAカード内のメモリ）を初期化することができるサービスです。

✜ 遠隔カスタマイズ

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各機能（カメラ機能やロック設定など）の利用の制限や、ON／OFF設定を遠隔から行うことができるサービスです。

Point

リモート機能設定確認： MENU ▶ 8 7 5 2

親子モード

使える機能を制限することで、安心して本FOMA端末をお子さまにご利用いただくことができます。

親子モード設定

親子モードを利用するかどうかを設定します。
親子モードを「ON」にすると、PINコード設定のメニュー操作が制限されます。PIN1コードの入力を利用しないときは、あらかじめPIN1コードON／OFFを「OFF」に設定してください。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶3親子モード▶認証操作▶1親子モード設定▶1ON or 2OFF**
「ON」にするとディスプレイ上部にが表示されます。

パスワード（子供用）変更

親子モード設定を「ON」に設定してから操作してください。
端末暗証番号と同じ番号はパスワードに設定できません。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶6端末暗証番号変更▶認証操作▶新しいパスワードを入力▶新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力▶［登録］**

各種利用制限

電話発信、メール、ワンセグ、カメラ、ｉモード／フルブラウザ、ｉアプリの利用などを制限することができます。
親子モード設定を「ON」に設定してから操作してください。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶3親子モード▶認証操作▶2各種利用制限**
右の画面が表示されます。

〈各種利用制限画面〉

2 **各項目を設定**

電話発信／メール送信設定：「電話帳登録相手のみ」にすると、電話帳に登録した相手にのみ電話発信やメール送信ができます。

ｉアプリロック設定：「登録アプリのみ許可」にすると、ｉアプリのダウンロードができず、FOMA端末内のｉアプリ以外は利用できなくなります。

3 **［登録］**

Point

- メールロックを「ON」に設定しても、送られてきたメールは自動受信します。このとき、音や画面による着信動作や新着情報表示は行われません。